

第39回自由が丘のまち運営会議議事録

日 時 : 平成22年(2010年) 7月27日(火)

18:30~20:30

場 所 : 緑が丘コミュニティセンター 第3研修室 目黒区緑が丘2-7-20

出 席 者 : 別紙の通り

議 題 : 1 自由が丘防犯対策推進協議会の経過報告及び提案

(こども110番の家についての提案)

2 リバティ・プレス自由が丘の発刊について

3 自由が丘街並み形成指針の経過報告

4 駅前広場整備事業の進捗状況

(盆踊りの開催について)

5 大井町線の地下化推進組織について

(株)ジェイ・スピリット渡邊取締役より挨拶

◆議題・・・自由が丘街並み形成指針の経過報告

※平井取締役より 順調に推移していることを報告。

※卯月議長より、まちの中で建物を壊している・建てている所がありましたらジェイ・スピリットまたは街並み形成委員会までご連絡下さい。

◆ 議題・・・駅前広場整備事業の進捗状況(盆踊りの開催について)

※平井取締役より報告 別紙図面のとおりに

※卯月議長:街並み形成委員会としてトイレと交番前の上屋について点線のようにしてほしいと申し入れをしましたが、区で方向性が出ていれば伺いたいです。

→板垣地区事業課長より報告:現段階の状況でございますが、区でも公衆トイレまで濡れないでいければ望ましいと思っております。ただ難しい問題を抱えておりますのは、この図面の黄色で塗られている部分が、東急電鉄と東急不動産で管理する領域が違うという事で「同じ東急だから東急の内部で何とか調整がつかないんですか」と担当レベルではお願いした所ですが、どうもそれもうまくいかない。それで、現段階では、東急グループとして設置するということには至っておりません。感触としても、それが実現する可能性は低いな、というのが現状であります。

→卯月議長:黄色でない所の点線はどのようなのですか。

→板垣地区事業課長:その部分だけ、という事は実は考えておりませんでした。その部分だけやっても、結局黄色の部分は雨がかかってしまう、という状況になります。その部分だけでというのであれば話す余地もありますが、黄色の部分もとなると先ほども申しましたとおり東急の内部の調整がついていないという状況です。

→卯月議長:以上が上屋の現状です。東急にさらにもお願いしなければならないと思っております。

<質疑応答>

(委員)是非、上屋をつけるように担当の方をお願いしてほしいです。

(委員)トイレの上屋について、身障者や赤ちゃん連れの方が使用しているようです。今、ある物がなくなるのは、非常に不便になるな、という感じがあります。何とか工夫してつけてほしいです。

(委員)街路灯の形が商店街によって違う。おかしいのでは。駅前の物を基準にして作り、これから直す所は、駅前を基準に直していったら良いのではないですか。

→お恥ずかしい話ですが予算を第一に考え街並み形成委員会で検討します。広場にある物は道路上にはすぐはないと思っています。

(委員)以前、舗装の素材についてテストをするという話があったと思いますがどうなっていますか。

→緑ヶ丘小学校で8月9日午後1時から舗装材料を持ち込んで見て頂こうと思っています。お時間のある方はご参加下さい。

(委員)バス停にガードレールはつかないのですか。

→最終決定ではありませんが、車道側は絶対乗降しない所に何らかのガードレールを作る予定です。

バス待ちの方が使えるようなベンチも置く予定です。※ガードレールはつかないことになった。

(委員)工事中の事ですが、ブルバール街の所にタクシーが止まるのではないかと心配しています。これをどうしたらよいのか、警察と話しあった方がよいのか？駐車禁止ですがタクシーに運転手が乗っている場合は駐車なのか停車なのか確認をしてもらいたいです。自転車も私たちの路地にこれから入ってきて止めると思います。工事中は特に気をつけないと事故があると思うのでよろしく願います。

→工事が始まる前からブルバール街に夜間タクシーが待機しているという事は南口さんの方から聞いています。駅前広場の工事中の駐停車・駐輪場について住区住民会議の委員会や区ともできるだけ早く話し合っていきたいと思います。

(委員)先ほどのトイレの屋根ですが、新しい事をやるのではなく今まで通りの事をやるわけです。法律に基づく規制ではなく、単なる東急電鉄と不動産の持ち合いの問題で出来ないというのであれば納得できません。

→板垣地区事業課長:先ほどの説明に補足になるのですが、今まで出来ていたことが出来ないと言うとおっしゃる通りだな、と思います。単純に調整の所の問題だけでなく、聞く所によりますと経費的な部分がネックになっている。図面を見ると容易に推測がつかのですが、タクシーの部分だけがちょっと膨らんでいて他の部分はでっぱりが少ない。これは、面積を極力小さくしたいという意図が出ているからだと思っています。それはなぜかという、やはり経費を削減したい。聞く所によりますと、トイレの前の部分だけでも数百万かかるようです。従いまして、そこまで費用の負担を強いるというのなかなか難しい所なのだと思います。もう一つの大きなネックは工事の時期的な問題でして、せっかくこういう物を作るのであれば駅前整備と併せて作りたい。いったんできてから、後付でやりますとせっかくできた歩道の舗装をまたほじくり返してやらなきゃならない事になりまして、今回の整備に間に合わせるような形でやらなければかなりマイナスになるのではないかと考えております。そして、そのためには、ハードルがいくつかございまして、建てる前にはまず建築確認を出して頂くのですが、その前にこれは道路上のもので路上協議会というような警察とか関係団体が集まった中での協議が必要です。その後に建築審査会の許可が必要でございます。許可を得たあとでやっと建築確認ということになります。こういうものを踏まえて日程の調整をしますと、やはり一刻も猶予ならない、現時点で決定していないと間に合わないよ、という状況でございます。従いまして時間を無制限にかけて調整しろというのであればできるのですが、完成時期を考えますと、完成を遅らせてまでもそれをやった方が得策なのかどうか、という問題がございます。それを考えると区の方としては、今回はこの図面どおりの形でもやむを得ないのではないかなと考えています。今後の展開として屋根を延ばしていくとか、やるとしても先の事で考えたほうが良いのかなと思っています。今後も東急には働きかけていきたいと思っておりますが、時期的な事も考えて今回は難しいのかな、と思っております。

→(委員)私は目黒区というのは使用者のことを考えずにお考えになっていると思います。例えば竣工時期が多少長くなっても使う人にとってみれば、これから5年10年傘をさして障害者や乳母車利用者の不便さを容認して、完成時期を合わせるのは違うと思います。目黒区は出来たときに使う人が便利になるように考えるのが基本です。東急の問題や予算の問題よりも使い勝手が良いようにして頂きたいというのが僕の意見です。

→平井取締役:板垣課長が言われた件ですが、検討委員会は1年半以上前からずっとやっています。今回、この件は街並み形成委員会の中のバス停などの中で始めてできました。そして答えは8月までに出さなければいけないとか、次の審議会が9月過ぎになってしまうですとか、そういうアドバイスを検討委員会の中でもっと早く頂いているべきだったと私は区の方に言ったのですけれども、そうじゃなかったんでしょうか。攻撃はしたくないのですが、そういうものを持ち出してきて、日にちがないからと今いわれてもまちとしては60年ぶりに暫定的とはいえ改良工事をするわけですから地域の皆さんに歓迎されるような仕上がりを期待しているわけですよ。そういった物が出来ないというのであれば、東急電鉄もお金がかかるのは分かりますが、自由が丘の事をどのくらい考えているか、という所に私は持っていきたいと思っています。これは行政も同じです。金がかかるからできないよ、というのであれば自由が丘としても今後そういう対応をしなければならない。

→(委員)お金がかかるようでしたら、バス停の屋根を少し伸ばしたら良いのではないかと思います。

→平井取締役:構造的には難しいようです。街並み形成委員会としては東急電鉄の担当の方に赤い波線の部分まで屋根を延ばせないか、とご依頼をしております。ただ問題なのは、現状で東急プラザ既存不適格という建物になっており、そこにテント建てるということに許可が下りないという事になっているようで、そこを目黒区が今までと同じようにやりかえるのにダメだ、ダメじゃないと言っている問題ではないと思いますので、そこらへんが目黒区がどう対応できるかによってこちら側が東急電鉄に強くお願いできるかどうかという問題になっております。

→板垣地区事業課長:今、既存不適格という事をおっしゃって頂きましたが、既存不適格というのは今の建築基準法ですとか、法律あるいは建築関係の条例に合わないというものです。法の精神からいけば今まで認められていた同じものを認めるべきか、というところではないんですね。法の精神からいうと今まで認められていた物でも今回建替えるとかそういうきっかけをもって適法な形にして下さいね、というのが本来の考え方です。ただ心情的に非常に分かるので先ほどのトイレにつなぐだけならもっと簡易な物でも良いのではないかと、というようなご提案も頂きましたのでそういう事を含めて検討する余地があるのかな、と思います。ただ、時期の問題ばかりいって申し訳ないのですが、私の知っている限りこの上屋の作り直しというのは5年くらい前から話を聞いていました。ただ、その当時も話が結構進んだのですが、それもだめになったんですね。細かい事情は知りませんが、5年位前からずっと計画があったものが、やっとここにきて実現しようとしている。東急のやる気の問題もあるのですが、いろいろ組織内部でも大変な事があるのではないかなと思ったりしています。そして計画的に協議やお願いをしたりする必要があると思いますが、それにつきましても皆さんがこの工事

に間に合わなくても良いというのであれば、そういう風に引き続き東急と協議を進めていく、という事はできると思います。ただそのためには、この工事は駅広の工事までに完成しなくてもご了承頂かなくてはならないと言う事でございます。

→卯月議長：東急と区と打ち合わせをされていて思ったのですが誤解を恐れずに言えば、東急は券売機と改札の所にだけ上屋がかかっていて券売機に西日が当たらなければうちはこれで十分だ最小限のコストでやりたい、これは分かりますよね。当然かもしれない。だけど、トイレと交番は極めて公共的な施設であって今までの経緯で東急に屋根をかけて頂いたわけですよね。それが突然、新しくするから券売機の方だけというのは筋が通らないので、僕は外からの立場でトイレと交番の前に屋根がかからないであれば券売機と改札の屋根も許可しない！というくらいの姿勢で区は臨むべきだと思います。そうでなければ、オープンして4月5月6月雨の降る時期にもものすごい苦情が寄せられる可能性が十分あってその時にじゃあこれからどうしようかと考えるべきなのか、区民の方々、広場利用者の声をあらかじめ予測してできる限りの事を区とまち運営会議、ジェイ・スピリットを含めてきちんと対応するのか、最後の段階で問われていると思いましたので、先ほど平井さんとお話をして、まちなみ形成委員会としてはご要望を出しましたが、もし可能であれば本日のまち運営会議の中でもトイレと交番の上にも今の水準を落とさないような形で上屋をかけてほしいと区に文書でご要望を申し上げたいと思いますがいかがでしょうか。

→(委員)賛同の拍手

→卯月議長：ありがとうございます。よろしいですか。結果はどうなるかは分からないのですが、やるべき事はきちんとやらないと、このまち運営会議の役割は何だったのか、と問われることになりますのでよろしく願いいたします。

卯月議長：次に盆踊りに関してお願いします。

奥角広報部長：盆踊りの開催に関しては、予定通りできるという話で、例年通り5日6日7日8日と開催します。5日の日はジェイ・スピリットが発売しましたCDのホイップルン音頭がございます。今年は何十年ぶりに歌をホイップルン音頭という形で皆さんにお聞かせできるような形になると思います。ホイップルン音頭を歌って頂いている井上あずみさんに5日の日はいらして頂いて、歌えるかどうかは別にして、そこでCDの販売と協力をするという事になっています。初日の6時から始まりますので是非、皆さん駅前広場においで下さい。あと7日8日は、ホイップルンの着ぐるみが出まして一緒に踊りますので是非皆さんご期待頂ければと思います。

◆議題・・・ 自由が丘防犯対策推進協議会の経過報告及び提案

栗山協議会会長より自由が丘防犯対策推進協議会の経過報告、リバティ・プレスについて報告、奥角広報部長、渡辺氏よりホイップルンを使った「こども110番」のPRについての提案

<質疑応答>

(委員)自由が丘防犯対策推進協議会の方をお願いしたいです。今、あちらこちらにカメラが設置してありますが、この間、近くの通りで事故があったので交番にいったら「知らないよ」と断られました。夜中

の2時だったので交番の人がチェンジして前の人とは違うわけです。碑文谷へ連絡しても、そういう連絡がない。救急車が来て交番の人も来たよ、というのにそういう連絡がない。交番のお巡りさんはどこにこのカメラがあるのか知っているのですか？碑文谷の人は知っているかも知れないが、交番の人が知っているかをお聞きしたいです。

→申し訳ございません。碑文谷署に替わってお詫び申し上げます。交通課長が推進協議会の委員として見えています。碑文谷署の中でのコミュニケーションがとれていない。ご要望を頂きましたので碑文谷署とは、今後さらに連携を強めてまいります。

卯月議長：ホイップルンを使った「こども 110 番」は今の「こども 110 番の家」に付加するものですか？

→既存のものも含めて新たにお願いしたいな、と思っております。チェンジするところはチェンジして頂き、新たに貼って頂く物は貼って頂くという形で進めていきたいと思っております。

(委員)今の「こども 110 番の家」に協力しており、貼るものを頂いているが、以前区長にもお願いしましたが、この大きさが大きすぎて貼りにくい。お作りになるのであればサイズをよく検討して作って頂きたいです。

→サイズに関しては検討させて頂きたいと思えます。

(委員)リバティ・プレス真ん中の地図について。自由が丘地図を見ている人に向きが分からない人が多いので東急線を載せる時に「至る渋谷」などの表記をしたほうが分かりやすいです。東急ストアの場所も違うし、ピコックストアやLAZ 自由が丘、緑ヶ丘小の表記も違ってきます。

→地図の指摘は以前から頂いていました。善処いたします。申し訳ございませんでした。

◆ 議題・・・大井町線の地下化推進組織について

平井取締役より報告。(仮称)大井町線地下化推進協議会を立ち上げていきたいと思えます。どういった組織形態が良いのか、どういう街全体の方向性が良いのかを検討していきたいと思っております。

<質疑応答>

(委員)玉川・自由が丘タウンミーティングという中で補助 208 号線の動きを知る機会がありました。その中では、まったく自由が丘で話し合われていることをご存じなかった。これから話し合っていくのですが、一番好ましくないのは町会と対立して行政と円滑な連携ができなくなる事があると良くないので前向きな姿勢で検討をしていきたいです。玉川・自由が丘タウンミーティングというのは任意の 12 の方が署名活動などをやっています。

(委員)今現在、大井町線の踏切がなかなか開かないという問題も含めていろいろなディスカッションをしてほしいと思えます。

→いろいろな問題を含めてご提案を次回以降していきたいと思えます。

卯月議長：それでは、今日はこれにて閉会いたします。ありがとうございました。